

令和元年度第 2 回宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議
 (8月20日)における主な意見要旨

ページ	意見概要
1. 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる中間総括(案)について	
中間総括	
—	進捗管理にあたっては、K P I の達成状況を数値により把握し、課題等を評価する必要があります。今回の中間総括では特に強化すべき課題を洗い出すための資料とされていますが、できれば K P I を踏まえて、もう少し具体的に評価された方が第 2 期総合戦略の策定の方向性に繋がっていくものと考えます。
—	非正規労働者が約 4 割という状況を踏まえると、出生率の目標が 2. 0 7 というのは夢のような状況ではないかと思えます。夫婦 2 人とも奨学金を返済しているため、出産することが難しいということも聞きます。奨学金負担を軽減するシステム等があるので、活用されたら良いのではないかと思います。 →人口ビジョンは国の出生率を基に推計しており、それに向けて 5 つの基本目標を定め、取組を進めているところです。奨学金につきましても、周知するなど、利用促進に繋がるようにしていきたいと思えます。
—	K P I について、第 2 期総合戦略では事業計画や予算と連動させていくことになるのでしょうか。 →第 2 期総合戦略の K P I は、今後検討することとしておりますが、その際は、事業や予算との関連性をより意識して K P I を検討していきたいと考えています。
—	限られた予算の中で事業を実施していくため、第 2 期総合戦略では強弱を付けて取組を進める必要があると思えます。 →第 2 期総合戦略では、これまでの施策も踏まえて、改めて効果的な取組を検討し、重点的に実施する取組を定めていきたいと思えます。
(1) 確固たる宇治ブランドの確立	
P3	多くの数値目標・K P I を全て達成することは難しい中で、地域ブランド調査による魅力度ランキングが平成 3 0 年度には 3 3 位となり、数値目標 2 9 位の達成に向けて、是非、頑張る取組を進めてほしいと思えます。

P34	<p>重要文化的景観地区選定面積の指標の進捗は見られませんが、現在の状況について教えてください。進んでいない中でも、宇治の魅力に関する取組は進んでおり、このKPIを外しても問題がないと思います。景観について考える機運を高める取組などを進めた方がよいと思います。</p> <p>→重要文化的景観地区については、白川地区等の選定を検討してきましたが、令和元年度も達成が難しい状況にあります。中間総括へのご意見を踏まえる中で、KPIを検討していきたいと思います。</p>
—	<p>近江八幡市では町家や使用されなくなった工場、商店等で芸術作品の展示を行い、観光客がパスポートを持って周遊するまち歩きイベントが開催されています。宇治市でもそのような取組をされてはいかがでしょうか。</p> <p>→まち歩きにつきましては、茶園や茶工場などを巡る無料の宇治茶巡りガイドツアーを実施しております。その他、周遊し魅力を感じることができる仕掛けにつきましては、他市の事例も参考にしながら、どのような取組ができるか検討してまいりたいと考えています。</p>
—	<p>観光について、宇治市は様々な観光資源がありますが、宿泊する人が少ないので、他市町村と連携しながら取り組む必要があると思います。</p> <p>→観光振興につきましては、これまでからも、京都府等と連携を図りながら取組を進めており、市の課題を踏まえながら、引き続き取組を進めるための検討が必要であると考えています。</p>
(4) 地域経済の活力づくり	
P77	<p>産業戦略の中に具体的な目標等も定められているので、当該戦略とも連携し、具体的な目標・施策を第2期総合戦略に定める必要があると思います。</p> <p>→第2期総合戦略を策定するにあたっては、重要な施策の一つでもあり、策定にあたっては、産業戦略の内容と合わせて検討したいと思います。</p>
(5) 若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり	
P93	<p>子育て情報の発信にLINE（ライン）を活用しているとのことですが、どのように周知されているのでしょうか。最近が高齢者もLINE（ライン）を活用されていると聞くので、高齢者向けの情報発信も行ってはどうでしょうか。</p> <p>→全戸配布している子育て情報誌により周知を図っていることに合わせて、保護者の方々の口コミでも広まっていると考えています。高齢者向けのLINE（ライン）を用いた情報の発信については現時点では検討しておりませんが、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>

<p>—</p>	<p>小学生の記憶に残り、宇治に対する愛着や定住促進に繋がる活動が必要であると思います。</p> <p>→市内の小・中学生が宇治の魅力を知り、実感することで、ふるさと宇治の愛着醸成を図る宇治学の授業の中で、世界遺産などを訪れたり、宇治茶について学んだりしており、それらの取組が宇治への愛着に繋がっていくものと考えています。</p>
<p>—</p>	<p>宇治市の子育て支援では産前産後の事業にも取り組んでおり、10月からは幼児教育の無償化も始まるということで、プラスとなる内容も多いと思いますが、長期的に事業を実施するにあたっては、当事者の声を聞く必要があると思います。子育てひろばでは、父親と子どものみで遊びに来るなど、20年前では考えられなかった状況もあります。また、幼稚園で17時までの延長保育をされていますが、働きたい人は子どもを保育してもらえる環境が必要であり、そうした情報を子育てひろばで得る方もおられます。子育てアンケートを実施されていますが、子育てひろばなどにも出向いていただき、現場の声を聞いていただくことも重要であると思います。</p> <p>→子育て環境の整備は大変重要な施策の一つと考えており、預かり保育をはじめ、子育てに関して様々な選択肢があることが魅力に繋がると考えています。そうしたことを踏まえまして、第2期総合戦略への位置付けを検討したいと考えています。</p>
<p>—</p>	<p>子どもの不安は、親や大人の不安、社会の不安と連動していると思いますので、親や大人が安定した仕事に就くことや産業を活性化していくことが大事であると思います。</p> <p>→子育てなどの不安に対する事業として相談窓口を設置するなどしておりますが、その他の不安の払拭にあたっては、就労環境も一つの要素と考えられるため、産業振興、雇用創出も合わせて考えていきたいと思っています。</p>

意見概要	
2. 人口ビジョンの方向性について	
	<p>人口ビジョンは、宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略のために定めるものなのでしょうか。</p> <p>→第2期総合戦略の策定にあたって、目指すべき人口を定めるものであり、それに向けたまちづくりの施策を考えていくこととなります。</p>
	<p>目指すべき人口ビジョンは、必ずそのとおりとなるものではなく、そもそも人口を予測することは難しいこともありますので、様々な統計を使用しながら決定していくしかないと思います。</p>

意見概要

3. スケジュールの見直しについて

国の第2期総合戦略では12月に閣議決定され、令和2年度からの計画になると思います。スケジュール変更は必要ですが、第2期総合戦略の策定に向けて、市議会へ12月には策定案を示していただく方が良いと思います。

→本推進会議でのご意見等を含めて第2期総合戦略の初案を、12月に所管の常任委員会へ報告する予定としております。